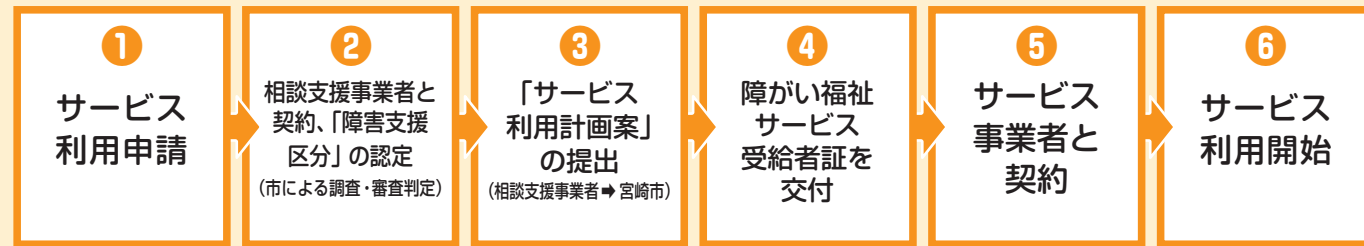


障がい福祉サービスを利用するには



※サービスによっては「障害支援区分」の認定が不要なものもあります。

みんなが暮らしやすい宮崎市の実現に向けて、さまざまな取り組みを行っています

障がい者手帳アプリ「ミライロID」が利用できます

「ミライロID」は障がい者手帳情報（障がい等級や障がい内容、有効期限など）をスマートフォン画面に表示できるもので、障がいのある人の移動や生活がもっと便利に自由になるよう考えられたものです。本市施設で使用料等の障がい者減免を受ける際に利用できるほか、公共交通機関（航空、鉄道、バス、タクシー、フェリー）の運賃、携帯電話料金、レジャー施設の利用料など障がい者割引に幅広く活用されています。



詳しくはこちらから

コミュニケーションツール等の普及を支援しています

障がいのある人の自立と社会参加を促進するため、小売店などに対して筆談ボードや簡易スロープの購入費用の補助を行っています。飲食店など向けに点字メニュー製作にかかる費用を助成し、点字表記を各所に増やすなど外出が困難な視覚に障がいのある人たちの社会参加の促進を図ります。

- 補助対象者**
- 小売店舗が集積する商業施設を営む者
 - 個人経営の小売店舗を営む者
 - 法人経営の小売店舗を営む者
- などのうち本補助を受けたことがない者

※詳しくは障がい福祉課までお問い合わせください。

「市広報みやざき」手話バージョンを見ることができます

これまで「市広報みやざき」手話バージョンはビデオテープもしくはDVDでの貸し出し閲覧を行っていましたが、より多くの人に市ホームページでも手話バージョンを見ただけできるようになりました。

<検索方法>

市ホームページのトップページから「市広報みやざき」と検索。「市広報みやざき」のページから動画閲覧ボタンより再生できます。



市ホームページはこちらから

医療的ケア児とその家族を支援しています

令和3年9月施行の「医療的ケア児およびその家族に対する支援に関する法律」は、医療的ケアを受けることが必要な子どもの日常生活や社会生活を社会全体で支えることを基本理念としています。本市では、医療的ケア児コーディネーターを配置し、医療的ケア児の退院支援や関連分野の支援調整、家族支援等を行っています。医療的ケア児の在宅生活に関する困りごとがありましたら、コーディネーターまでご相談ください。

そうだんサポートセンターおおぞら
TEL 21-1975（8時30分～17時15分）
※土曜・日曜、祝日を除く

ご存知ですか？ 脳の損傷で起こる認知障がい「高次脳機能障がい」について

脳のケガや病気（脳卒中など）の後、物忘れが増えた、新しいことが覚えられない、注意・集中力が続かない、発語や読み書きが上手くできない、怒りっぽくなった、無制限に食べたりお金を使ったり…。このような状態でお困りの人、もしかしたら高次脳機能障がいかもしれません。心当たりのある人は、ぜひご相談ください。

宮崎県身体障害者相談センターでは相談窓口を開設しています
(問) TEL 29-2556 (平日9:00～15:30)



問 障がい福祉課 TEL 21-1772 FAX 21-1776

3 すべての人に健康と福祉を
だれもが健康で幸せな生活を送れるようにしよう。

子ども向けサービス (放課後等デイサービス)

6～18歳までの障がいのある子どもや個別支援の必要な子ども向けの障がい福祉サービスに「放課後等デイサービス」があります。放課後や土曜日、夏休みなどの長期休みに利用できるサービスです。生活能力の向上のために必要な訓練や集団生活への適応に向けた支援、社会との交流の機会を提供します。

音楽で子どもの成長をサポートする松原由梨さん (音楽特化型療育支援 音のはびねす宮崎)



私は音楽を通して心と体を豊かに育てることを目的に、リトミックやリズム体操などで子どもの成長をサポートしています。心と体と音楽で調和をはかり、子どもの持っている可能性を引き出すようにしています。



Q. この仕事をするようになったきっかけは？

A. 中学・高校の音楽教諭をしていました。その経験から、私自身音楽はひとつのコミュニケーションツールだと感じています。そんな音楽というツールを使って、子どもたちと笑顔分かち合いたいと思ったからです。

Q. この仕事のやりがいは？

A. 「昨日よりも集中して参加できた!」「大きな声で歌うことができた!」など、小さな「できた!」を毎日発見できるところにやりがいを感じています。障がいのあるなしではなく、人はみんな個性があります。その子の個性に合わせて一人ひとりをサポートし、一緒に楽しみながらたくさん「楽しい!」「できた!」を増やし、子どもたちの自信につなげていきたいです。



指導員
松原由梨さん

保護者の声

スタッフの人が根気強く接してくださるおかげで、子どもが楽しく通っています。人と少しずつ関わられたり、自分を表現したりできるようになりました。

- こんな人が働いています /
● 保育士 ● 教員免許保持者

働くための力の習得をサポートする平田清志さん (IT・就労特化型 Good Jobs)



私は子どもたちの将来の就職を視野に入れたサポートをしています。障がいのある子どもが将来働ける社会の実現を目指し、IT技術やソーシャルスキルの習得に力を入れ、「働くために必要な力」を身につけるサポートをしています。



Q. この仕事をするようになったきっかけは？

A. 私自身、数年前に視覚障がいを発症しました。障がいがあると仕事などが思うようにできず、自立の困難さを実感しました。そういう社会を変えたくて、福祉の仕事につきました。就労や自立をサポートしていけるところに魅力を感じています。

Q. この仕事のやりがいは？

A. 苦手だったことができるようになるなど子どもの成長が見えるところや、支援した子どもが目指していた仕事につけて卒業していく姿を見るとやりがいを感じます。大人になった時に、「あの時、グッドジョブに行っていたから。平田先生が教えてくれたから」と思ってもらえるようにしたいですね。



指導員
平田清志さん

保護者の声

明るい先生たちのおかげですぐ慣れ楽しく通っています。思春期の子どもと向き合うのは大変ですが、先生が相談に乗ってくださるので安心して通わせることができます。

- こんな人が働いています /
● 保育士 ● 児童指導員 ● 精神保健福祉士

※その他の障がい福祉サービスについて、詳しくは市ホームページをご覧ください。(P7にQRコードがあります。)